

# Graminex 社の”花粉エキス G63”による肝機能障害への知見

横山博美 鈴木直文 西村良己  
(神田医新クリニック)

花粉は次世代の植物の誕生に欠かせないものであり、豊富な栄養分(アミノ酸、ミネラル、ビタミン等)を含有しており、未知なる作用を秘めた物質である。男性患者の中には肝機能障害をおこし、EDや男性更年期という現代病を併発している。その原因としてはアルコールの多飲、精神的ストレス、高カロリー食がほとんどであり、悪循環を繰り返している。肝細胞の修復には充分なたんぱく質とビタミン、ミネラルが必要であり今回我々はその全てを持ち合わせた花粉エキスが肝機能障害に有効かを検討したので報告する。

## 【対象と方法】

当クリニックにて肝機能障害と指摘された5名に3ヶ月から5ヶ月に亘り花粉エキス G63 を服用してもらい服用前と後(1ヵ月後~5ヵ月後)において肝機能検査を行い、効果を判定した。

花粉エキス G63 とはアメリカのオハイオ州にある Graminex 社が、自社の畑で、農薬を使用せず、遺伝子操作をしていないライ麦、とうもろこしの種を使用して栽培し、その花粉を原料としている(しかし雑草としてチモシー(日本ではおおあわがえりと言われている)の花粉も若干含まれる)。花粉は二重の殻からできており、強い耐酸性と耐熱性(300度でも破壊されない)の為に花粉を食べても消化・吸収ができないが、Graminex 社では特殊な技術を駆使して G60(水溶性栄養成分)と GFX(脂質溶解性成分)を別々に抽出した後、20:1の比率で複合化させ G63 という製品に仕上げられており、それを提供してもらった。

1日6錠を朝、夕食後に3錠ずつ服用してもらった。1錠あたり250mgで花粉エキスを62.5mg含有する。(1日量・・・花粉エキスとして375mg)

## 【結果】

氏名	性別	年齢	服用期間	GOT	GPT	-GTP	T-cho	TG
N . Y	M	48	前	67	186	119	244	197
			1ヵ月後	48	125	84	235	160
			2ヵ月後	31	60	76	239	174
			3ヵ月後	27	49	74	238	270
			5ヵ月後	35	65	76		
S . M	M	71	前	61	56	144	183	126
			2ヵ月後	73	65	198	195	114
			4ヵ月後	48	47	164		
			5ヵ月後	46	49	135		
K . M	M	77	前	47	47			
			2ヵ月後	26	29	152		
			3ヵ月後	26	29	178	136	161

K . M	M	48	前	127	132	226	188	101
			1 ヶ月後	69	79	220	187	135
			3 ヶ月後	211	157	260	221	105
F . M	M	59	前	119	360	241	169	153
			1 ヶ月後	16	21	96		
			2 ヶ月後	16	17	49		
			4 ヶ月後	17	21	37		

### 【結論】

G O T , G P Tは5名中5名が改善したが、症例 は3 ヶ月後に悪化しているが、1 ヶ月後に改善した為に酒量が増えたのが原因ではないかと思われる。症例 はB型肝炎であったが、花粉エキスを服用し始めて劇的に改善した。

### 【考察】

花粉エキスは抗酸化作用物質、アミノ酸、微量金属元素（ミネラル）を含有しており、血流を改善し疲労回復させ、障害のおきた肝細胞のダメージを最小限に食い止め、修復したものである。

### 【安全性】

知見中、特に体調不良を訴え服用を中止しなければならない者はいなかった。ただし、アルコールを飲用しても悪酔いしないとの訴えが2名あり、酒量に注意をしなければならない。

2006.4.19